

# 情報通信月間参加行事 行事報告書

行事コード	Cc21M	行事名	シンポジウム 「NGNと地域情報化－NGNを山梨県内の地域情報化にどのように活用していくか－	
日時	6月28日(木曜日)		場所	山梨県営小瀬スポーツ公園内武道館第一会議室
展示会等会場来場者数				
講演会等参加人数	80名			
Webアクセス数				
主催団体	・NPO山梨情報通信研究所 (共催CCC21情報通信研究所)			
実施概要	<p>シンポジウム 15:00～17:00          司会：河澄副理事長          開会あいさつ：NPO山梨情報通信研究所 理事長 伊藤 洋          パネルディスカッション          「NGNと地域情報化」          ～NGNを山梨県内の地域情報化にどのように活用していくか～          座長 NPO山梨情報通信研究所 理事長 伊藤 洋</p> <p>パネラー          山梨大学コンピュータメディア工学科 准教授 郷 健太郎          サイバー大学准教授・(株)まほろば工房代表取締役 近藤邦昭          甲府市役所企画部行政システム改革室情報政策係係長 土屋光秋          (株)デジタルアライアンス 取締役社長 鈴木新一</p> <p>閉会あいさつ：林野副理事長          &lt;ストリーミング配信&gt;          南アルプス市、身延町へ「山梨県情報ハイウェイ」を通して          講演会およびシンポジウムのライブ・ストリーミングを行う。          以上</p>		<p>実施結果に対する感想・反省等</p> <p>今回の情報通信月間参加行事は6月28日に、前回と同様に、山梨県地域情報化推進協議会と同一会場で、第1部「山梨県地域情報化推進協議会」主催の講演会、第2部「当山梨情報通信研究所」主催のシンポジウムとして開催した。このため、ポスターを始めとして集客作業やネットワーク構築作業などで山梨県地域情報化推進協議会の事務局を担当している山梨県情報政策課の多大なご協力を頂いた。参加者は第1部90名、第2部80名と会場が満員となり、盛況であった。</p> <p>シンポジウムでは、「電話網やインターネット、地域情報化網およびデジタルデハイドなどの問題」がNGNの技術動向や活用方法の面から具体的に討論されたので、新しく2011年より始まるデジタル化の時代に、山梨県においてもIT社会が県民や自治体の行政面でどのように変化するか、聴衆は非常に強い関心を示していた。</p> <p>今後も、県民や自治体の政策に参考になるようなテーマのシンポジウムの開催を行いたい。</p>	

理事長挨拶とパネラー



会場とライブ中継の様子



配信会場(上・南ア、下・身延)

